



東北大学

報道機関 各位

平成20年11月5日

東北大学大学院農学研究科
東北大学大学院環境科学研究科

CO₂の大幅削減を目指す地域分散型エネルギー研究プロジェクトの開始

東北大学大学院農学研究科と環境科学研究科は、洞爺湖サミットをはじめとする政府の地球温暖化対策をうけて実施される、科学技術振興機構（JST）の研究開発プロジェクト「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」の一環として、「東北の風土に根ざした地域分散型エネルギー社会の実現」の研究プロジェクトに取り組みます。先月末に研究計画書と予算の承認があり、今後5カ年の研究活動（平成25年9月迄を予定、研究費総額約1億円）を始めることに致しました。

本プロジェクトの目標は、温室効果ガスの大幅削減と環境共生社会の実現のため、一つは、地域の再生可能エネルギー・資源を最大限活用するエネルギーシステムを構築する社会技術（社会科学と自然科学を統合して構築する社会問題解決のための科学・技術）を研究開発すること、二つは、それを実在する地域社会で「エコミュゼ」として実現し、社会にカルチャーショックを与え環境・エネルギー意識の転換を促すこと、にあります。

この目標達成のため、東北地方を対象に、地域内に豊富に存在する木質バイオマス、水力、地熱・地中熱を取り上げ、我々研究者等が長年関わってきた地域のうち、宮城県川崎町、岩手県気仙地域（住田町・陸前高田市）および山形県西川町の3つの地域で研究を進めます。

東北に賦存する木質バイオマスは膨大であり、本プロジェクトで開発を予定する社会技術等が成功すれば、東北地方の300箇所程度、世帯数で2～3%程度が取り組むだけでCO₂の排出量は、炭素換算で約80万トン、東北の民生部門の1割強の削減が見込めます。

つきましては、本プロジェクトの詳細に関して、下記の通り記者発表を行いますので、お知らせ致します。

記

日時 平成20年11月 10日（月） 午前11時から12時
会場 東北大学大学院農学研究科 大学院演習室（講義棟2階）
青葉区堤通雨宮町1-1
説明者 東北大学大学院農学研究科教授 両角（もろずみ）和夫
東北大学大学院環境科学研究科助教 池上真紀

（お問い合わせ先）

東北大学大学院農学研究科資源生物科学専攻地域計画学分野
担当 両角（もろずみ）和夫
TEL 090-7785-7766

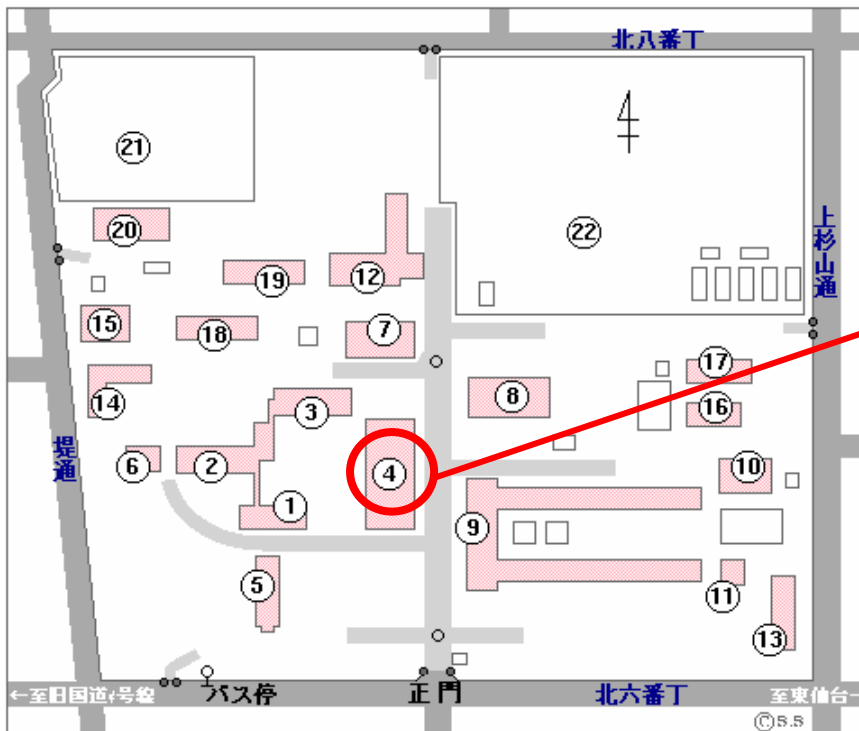
E-mail morozumi@bios.tohoku.ac.jp

<会場案内図>

東北大学大学院農学研究科・農学部 雨宮キャンパス



<雨宮キャンパス案内図>



講義棟2階
大学院演習室

東北大学大学院農学研究科 地域計画学 両角和夫 行き

「CO₂の大幅削減を目指す地域分散型エネルギー 研究プロジェクトの開始」についての記者会見

日時：平成20年11月10日（月） 11～12時

会場：東北大学大学院農学研究科

講義棟2階大学院演習室

ご出席

ご欠席

ご芳名

貴社名

所属

媒体名

FAX 番号

E-mail :

ご出欠のご返信を11月7日（金）までに FAX にてご返信頂ければ幸いです。

FAX 送信先 022-717-8908